

出演者

<オペラチーム>



石上 朋美 | ソプラノ

東京藝術大学声楽科首席卒業、同大学大学院オペラ科修了。
文化庁海外派遣研修員としてイタリアに留学し、第40回日伊声楽コンクール第二位及び歌曲賞など、国内外で多数受賞。新国立劇場「蝶々夫人」オペラ彩「トスカ」などの出演が記憶に新しい。現在、長岡市民合唱団声楽アドバイザー。国立音楽大学非常勤講師。藤原歌劇団団員。



榛葉 樹人 | テノール

国立音楽大学音楽学部声楽科を卒業後、東京芸術大学別科声楽専攻を修了。二期会オペラ研究所第49期マスタークラスを修了。
これまで「ドン・ジョヴァンニ」「魔笛」「蝶々夫人」「外套」「妖精ヴィッリ」「リゴレット」などで出演。またアンサンブルグループFORESTAのメンバーとして、「BS日本・こころの歌」に出演中。二期会会員。



今井 俊輔 | バリトン

東京藝術大学を首席で卒業。同大学院終了。2013年ライブツィヒとの提携公演「マクベス」にてオペラデビュー後「トスカ」「外套」「ジャンニ・スキッキ」「アイーダ」と全て主役、主要役で出演し続ける。また「BS日本・こころの歌」のFORESTAとして2003年より出演。2019年9月初のアルバム「I am I イタリア」と「I am I 日本」を同時リリース。東京二期会会員。
<https://fan.pia.jp/imaishunsuke/>



笈沼 甲子 | ピアノ

桐朋学園大学卒業。東邦音楽総合芸術研究所で伴奏法を学ぶ。幅広く演奏活動が続ける他、若い演奏家の為のプロジェクト主宰として、各種コンサートの企画、プロデュースを行う。二期会愛好家クラスピアニスト。日本演奏連盟会員。

<演劇チーム>



磯辺 万沙子 | 朗読

福岡県出身。劇団昴所属。近年の主な舞台出演に『危機一髪』『君恋しーハナの咲かなかった男』など。
また、『モンスターズ・インク』ロズ役、『リメンバー・ミー』エレナおばあちゃん役などの吹替や、アニメ『この音とまれ!』仁科静音役など、声の出演多数。



斉藤 祐一 | 朗読・台本

1977年生まれ。千葉県出身。文学座演技部所属。俳優活動の傍ら劇作を手掛け、演劇×オペラ「マクベス」「フィガロの結婚」「コジ・ファン・トゥッテ」の上演台本を担当。

スタッフ

舞台監督：小関瑞穂 ステージマネージャー：福島達朗

票券：茂在真由美 制作：笈沼甲子

予 告

2021年9月2日、3日
伝承ホールにて

演劇×オペラ

フィガロの結婚

令和バージョン

公演決定!

演劇 × オペラ

スピノフ コンサート

2020年12月10日(木) 午後2時開演(1時半開場)

会 場：渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール

お問い合わせ

若い演奏家の為のプロジェクト TEL：080-4345-6030 / メールアドレス：info@wakaiensouka-project.com



プログラム

＜第一部＞

詩と歌曲の饗宴

朗読：磯辺万沙子、斉藤祐一

初恋	越谷達之助作曲／石川啄木作詞	石上
しぐれに寄する抒情	團伊玖磨作曲／佐藤春夫作詞	榛葉
茉莉花	信時潔作曲／蒲原有明作詞	今井
ああ、わが愛する人よ	ステファノ・ドナウディ作曲／アルベルト・ドナウディ作詞	榛葉
ひとつのバラに	チマーラ作曲／メンディチーニ作詞	石上
愛の神よ、ようこそ	チマーラ作曲／ペーシ作詞	石上
プルチネツラは死んだ	トスティ作曲／フォンターナ作詞	今井
禁じられた音楽	ガスタルドン作曲／フロックフリック（ガスタルドンのペンネーム）作詞	榛葉

休憩 15分

＜第二部＞

演劇×オペラ 名場面集

コジ・ファン・トゥッテ	モーツァルト作曲		
フィオルディリージとフェランドの二重唱		榛葉	石上
マクベス	ヴェルディ作曲		
レディマクベスのアリア			石上
マクベスとレディの二重唱		今井	石上
マクダフのアリア			榛葉
フィガロの結婚	モーツァルト作曲		
伯爵のアリア			今井
二幕フィナーレ			全員

オペラのあらすじ

＜コジ・ファン・トゥッテ＞ 台本：ロレンツォ・ダ・ポンテ 作曲：モーツァルト

ダ・ポンテの作によるイタリア語劇。元のタイトルは「恋人たちの学校」であったが、モーツァルトは「コジ・ファン・トゥッテ（女はみなこうしたもの）」と変え元のタイトルはサブタイトルとして残した。

劇は2組の恋人たち（グリエルモ&フィオルディリージ、フェランド&ドラベッラ）、老哲学者ドン・アルフォンソ、小間使いデスピーナの6人で演じられる。

若い士官グリエルモとフェランドは恋人のフィオルディリージとドラベッラ姉妹の貞節を信じているが、ドン・アルフォンソが「女の貞操はアラビアの不死鳥と同じで、誰も見た者はいない」と説くので、三人は賭けをすることになる。二人の士官は戦争に出たふりをして変装し、お互いの恋人を誘惑する。姉妹ははじめ拒絶するが、デスピーナにそそのかされとうとう誘惑に負けてしまう。賭けに勝ったドン・アルフォンソは「女はみんなこうしたもの。人は非難するが私は許す」と言い、二人の士官と姉妹も和解して元の鞆に収まって終る。

＜マクベス＞ 原作：シェイクスピア 作曲：ヴェルディ

＜マクベス＞はヴェルディの初期の傑作オペラで、現在上演される版は改訂版が多くなっている。舞台は11世紀のスコットランド。武将のマクベスとバンコーは突然現れた魔女たちから「マクベスが王となる」「バンコーが王の父となる」と予言される。その予言を受けマクベス夫人はさらなる野望を抱き、マクベスを焚きつけて王を暗殺しその王位を奪う。悪事がばれることを恐れた二人は、王位を守るためバンコーを殺し、さらに亡き王の部下マクダフの妻子までも殺害する。マクダフは復讐のために立ち上がり、王の息子マルコムと共にマクベスに進軍、マクベスはマクダフに討たれ、マルコムが新たな王となり幕が下りる。

＜フィガロの結婚＞ 台本：ロレンツォ・ダ・ポンテ 作曲：モーツァルト

原作はフランスの劇作家ボーマルシェの三部作「セビリアの理髪師」「フィガロの結婚」「罪ある母」の二作目。

舞台は、18世紀半ばのスペイン・セビリア近郊のアルマヴィーヴァ伯爵邸。伯爵家に仕えるフィガロと伯爵夫人の侍女スザンナの結婚の日の一日を描いた喜劇。花嫁となるザンナに対し、伯爵は自らが廃止した初夜権を復活させ行使しようとする。フィガロとスザンナは、夫の浮気を嘆く伯爵夫人ロジーナを巻き込み、それを阻止しようとする。スザンナは伯爵の誘いに応じるふりをして伯爵を夜の庭に誘い出し、伯爵夫人と衣装を取り換え入れ替わる。まんまと庭に出できた伯爵は、伯爵夫人（スザンナが変装している）とフィガロが浮気しているのを発見して怒り狂い、館の人々を呼び付けるが・・・。